



本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE

JUL 06 2001 JAPANESE GOVERNMENT

4

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2 0 0 0 年 3 月 3 1 日

出 願 番 号

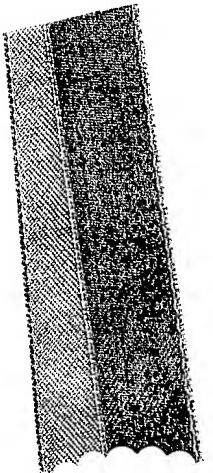
Application Number:

特願 2 0 0 0 - 0 9 6 2 0 1

出 願 人

Applicant (s):

松下電器産業株式会社

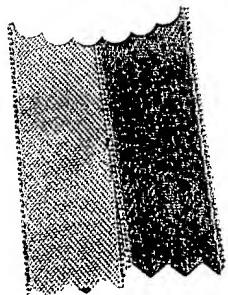
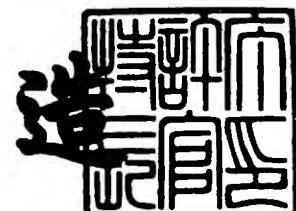


CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2 0 0 1 年 3 月 3 0 日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕



出 証 番 号 出 証 特 2 0 0 1 - 3 0 2 5 4 6 8

【書類名】 特許願
【整理番号】 2032720006
【提出日】 平成12年 3月31日
【あて先】 特許庁長官 殿
【国際特許分類】 H04L 12/12
【発明者】
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】 山室 景成
【発明者】
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】 楠見 雄規
【発明者】
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】 下地 達也
【発明者】
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】 園田 泰之
【発明者】
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】 増田 力也
【発明者】
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】 荒居 重

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式
会社内

【氏名】 谷川 英和

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100081813

【弁理士】

【氏名又は名称】 早瀬 憲一

【電話番号】 06(6380)5822

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 013527

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9600402

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 受信装置、視聴記録方法、視聴情報処理装置、サービス内容決定方法、及び記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 番組の内容である番組コンテンツ及び当該番組コンテンツを識別する番組識別子を有する番組情報を受け付ける番組受付部と、

前記番組コンテンツを表示する表示部と、

前記表示部に前記番組コンテンツを表示した場合に、前記番組コンテンツを識別する番組識別子を有する視聴情報を着脱可能な記録媒体に記録する視聴記録部と、

を備えたことを特徴とする受信装置。

【請求項2】 請求項1記載の受信装置において、

番組コンテンツを表示した属性である表示属性を取得する表示属性取得部をさらに備え、

前記視聴情報が表示属性と番組識別子とを有することを特徴とする受信装置。

【請求項3】 請求項2記載の受信装置において、

前記表示属性が番組コンテンツを表示した位置であることを特徴とする受信装置。

【請求項4】 請求項1ないし3のいずれか一つ記載の受信装置において、前記視聴情報が番組コンテンツを視聴した回数である視聴回数をさらに有することを特徴とする受信装置。

【請求項5】 請求項1ないし4のいずれか一つに記載の受信装置において

ユーザ入力を受け付ける入力受付部をさらに備え、

前記入力受付部が受け付けたユーザ入力に基づいて前記表示部に前記番組コンテンツを表示した場合に、前記視聴記録部が着脱可能な記録媒体に視聴情報を記録することを特徴とする受信装置。

【請求項6】 請求項5記載の受信装置において、

前記入力受付部が、ユーザ入力を予め決められた一定時間受け付けた場合に、

前記視聴記録部が着脱可能な記録媒体に視聴情報を記録することを特徴とする受信装置。

【請求項7】 請求項5記載の受信装置において、

前記入力受付部が番組に関する情報である関連情報の入力を受け付け、

前記入力受付部が関連情報を受け付けた場合に、前記視聴記録部が着脱可能な記録媒体に視聴情報を記録することを特徴とする受信装置。

【請求項8】 番組の内容である番組コンテンツ及び当該番組コンテンツを識別する番組識別子を有する番組情報を受け付ける番組受付ステップと、

前記番組コンテンツを表示する表示ステップと、

前記番組コンテンツを表示した場合に、前記番組コンテンツを識別する番組識別子を有する視聴情報を着脱可能な記録媒体に記録する視聴記録ステップと、

を備えたことを特徴とする視聴記録方法。

【請求項9】 請求項8記載の視聴記録方法において、

番組コンテンツを表示した属性である表示属性を取得する表示属性取得ステップをさらに備え、

前記視聴情報が表示属性と番組識別子とを有することを特徴とする視聴記録方法。

【請求項10】 請求項9記載の視聴記録方法において、

前記表示属性が番組コンテンツを表示した位置であることを特徴とする視聴記録方法。

【請求項11】 請求項8ないし10のいずれか一つ記載の視聴記録方法において、

前記視聴情報が番組コンテンツを視聴した回数である視聴回数をさらに有することを特徴とする視聴記録方法。

【請求項12】 請求項8ないし11のいずれか一つに記載の視聴記録方法において、

ユーザ入力を受け付ける入力受付ステップをさらに備え、

入力受付ステップにおいて受け付けたユーザ入力に基づいて前記番組コンテンツを表示した場合に、前記視聴記録ステップにおいて着脱可能な記録媒体に視聴

情報を記録することを特徴とする視聴記録方法。

【請求項13】 請求項12記載の視聴記録方法において、

前記入力受付ステップにおいて予め決められた一定時間ユーザ入力を受け付けた場合に、前記視聴記録ステップにおいて着脱可能な記録媒体に視聴情報を記録することを特徴とする視聴記録方法。

【請求項14】 請求項12記載の視聴記録方法において、

前記入力受付ステップにおいて番組に関する情報である関連情報の入力を受け付け、

前記入力受付ステップで関連情報が入力された場合に、前記視聴記録ステップにおいて着脱可能な記録媒体に視聴情報を記録することを特徴とする視聴記録方法。

【請求項15】 請求項8ないし14における視聴記録方法により視聴情報が記録された着脱可能な記録媒体。

【請求項16】 着脱可能な記録媒体に記録された視聴情報に基づいてサービス内容を決定することを特徴とするサービス内容決定方法。

【請求項17】 着脱可能な記録媒体に記録された視聴情報を読み取り、処理する視聴情報処理装置であって、

前記視聴情報を読み取る視聴情報取得部と、

サービス内容とサービス内容で特定されるサービスを提供する条件である提供条件を対にして保持するサービス情報保持部と、

前記視聴情報取得部で取得した視聴情報に前記サービス情報保持部で保持する提供条件を適用して、サービス内容を決定するサービス内容決定部と、

前記サービス内容決定部で決定したサービス内容を出力するサービス内容出力部とを備えたことを特徴とする視聴情報処理装置。

【請求項18】 請求項17記載の視聴情報処理装置において、

サービス内容出力部がサービス内容を出力した場合に、記録媒体に記録された視聴情報を削除する視聴情報削除部をさらに備えたことを特徴とする視聴情報処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ユーザが特定の番組を視聴したことを着脱可能な記録媒体に記録できる受信装置、視聴記録方法、及びその記録媒体に記録された情報により、ユーザにサービス内容を提示できる視聴情報処理装置、サービス内容決定方法に関する。

【従来の技術】

従来より、さまざまな広告媒体を用いることによるサービスの提供が行われてきている。例えば、ファーストフード店であれば、街頭でその店の販売する新商品の広告とともにハンバーガー等の割引クーポン券を頒布する。そして、その割引クーポン券を受け取った者が、その割引クーポン券を店に持っていくことにより、ハンバーガーの価格を割り引いてもらえる等のサービスを受けることができる。

【0002】

また、近年では、インターネットを介して、例えばファーストフード店のホームページにアクセスし、そこに掲載されているクーポン券を自分でプリントアウトしてファーストフード店に持っていくことにより、街頭で頒布されているクーポン券を受け取った場合と同様のサービスを受けることもできる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述のようなサービスが受けられるのは、実際に配布されているクーポン券を受け取った場合、あるいは、インターネットで特定のホームページにアクセスし、そのクーポン券をプリントアウトした場合に限られていた。

【0004】

したがって、テレビで放映されるCMなどを視聴したとしても、テレビでCMを視聴したことを証明することが困難なため、上述のようなサービスを受けることはできないという問題があった。

【0005】

本発明は、かかる問題点に鑑みてなされたものであり、テレビで放映される番

組等を視聴し、その番組を視聴したことを着脱可能な記録媒体に記録することのできる受信装置、及び視聴記録方法、また、その記録された情報により、番組を視聴したことによるサービスを受けることができる視聴情報処理装置、及びサービス内容決定方法を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明の受信装置は、番組の内容である番組コンテンツ及び当該番組コンテンツを識別する番組識別子を有する番組情報を受け付ける番組受付部と、前記番組コンテンツを表示する表示部と、前記表示部に前記番組コンテンツを表示した場合に、前記番組コンテンツを識別する番組識別子を有する視聴情報を着脱可能な記録媒体に記録する視聴記録部とを備えたことを特徴とするものである。

【0007】

また、本発明の視聴記録方法は、番組の内容である番組コンテンツ及び当該番組コンテンツを識別する番組識別子を有する番組情報を受け付ける番組受付ステップと、前記番組コンテンツを表示する表示ステップと、前記番組コンテンツを表示した場合に、前記番組コンテンツを識別する番組識別子を有する視聴情報を着脱可能な記録媒体に記録する視聴記録ステップと、を備えたことを特徴とするものである。

【0008】

また、本発明のサービス内容決定方法は、着脱可能な記録媒体に記録された視聴情報に基づいてサービス内容を決定することを特徴とするものである。

【0009】

また、本発明の視聴情報処理装置は、着脱可能な記録媒体に記録された視聴情報を読み取り、処理する視聴情報処理装置であって、前記視聴情報を読み取る視聴情報取得部と、サービス内容とサービス内容で特定されるサービスを提供する条件である提供条件を対にして保持するサービス情報保持部と、前記視聴情報取得部で取得した視聴情報に前記サービス情報保持部で保持する提供条件を適用して、サービス内容を決定するサービス内容決定部と、前記サービス内容決定部で

決定したサービス内容を出力するサービス内容出力部とを備えたことを特徴とするものである。

【0010】

【発明の実施の形態】

(実施の形態1)

以下、本発明の実施の形態1による受信装置、及び視聴記録方法について図面を参照しながら説明する。

図1は、本実施の形態1による受信装置の構成を示すブロック図である。

受信装置10は、番組受付部11と、表示部12と、表示属性取得部13と、入力受付部14と、視聴記録部15とを備える。

【0011】

番組受付部11は、放送局からの放送波により番組コンテンツと、その番組コンテンツに対応した番組識別子とを含んだ番組情報を受け付ける。そして、番組コンテンツを表示部12に出力し、番組識別子を視聴記録部15に出力する。ここで、番組コンテンツとは、番組を構成するためのデータであり、例えば、動画、及び音声の両方、あるいはいずれか一方を含むものである。また、番組コンテンツは、CM、ドラマ、アニメ、あるいはスポーツなど、そのジャンルを問わない。番組識別子とは、番組コンテンツを識別するための識別子であり、各番組コンテンツごとに異なったものが用いられる。

【0012】

表示部12は、番組コンテンツを表示する。番組コンテンツの表示形態は、ユーザがリモコン等により自由に決めることができる。ここで、番組コンテンツの表示形態としては、例えば、モニターの全面に番組コンテンツを表示する、あるいは、モニターの一部に番組コンテンツを表示するなどの番組コンテンツの表示された領域のモニター全面に占める割合や、番組コンテンツの表示された領域のサイズ、番組コンテンツの表示された領域のモニターにおける位置などがある。番組コンテンツの表示されたサイズとしては、例えば、2×3inchなどが用いられる。また、番組コンテンツの表示された領域のモニターにおける位置としては、例えば、モニターの左上を原点として、番組コンテンツの表示された領域

の左上を、水平、及び垂直座標を用いて表したものなどが用いられる。

【0013】

表示属性取得部13は、視聴記録部15から、番組コンテンツの表示属性を取得する旨の命令である取得命令が入力されたときに、表示部12に表示された番組コンテンツの表示属性を取得し、視聴記録部15に出力する。なお、表示属性としては、例えば、上述の表示形態や、番組の表示された時間などがある。

【0014】

入力受付部14は、ユーザからのリモコンによる記録信号の入力を受け付け、ユーザの入力した記録信号が一定の記録条件を満たしたときには、記録命令を視聴記録部15に出力する。なお、記録信号とは、ユーザがリモコンの記録ボタンを押したときに、リモコンから受信装置10に送信される信号のことである。また、記録条件とは、記録媒体16に視聴情報を記録するための条件であり、例えば、ユーザが記録信号を一定時間以上続けて送信したことをいう。また、入力受付部14は、番組コンテンツや、表示形態の変更、あるいはボリュームの変更等のユーザからの入力も受け付け、それぞれの入力内容に応じた出力を、表示部12等に対して行う。

【0015】

視聴記録部15は、番組受付部11から入力された番組識別子を図示しない識別子バッファに上書きで格納する。また、入力受付部14から記録命令が入力されたときに、表示属性取得部13に取得命令を出力する。そして、表示属性取得部13から表示属性の入力があると、識別子バッファに格納されている番組識別子と表示属性とを着脱可能な記録媒体16に記録する。なお、着脱可能な記録媒体16とは、視聴情報を記録するときには受信装置10に装着し、視聴情報の記録を終了したときには、受信装置10から取り出すことのできるものである。また、記録媒体16としては、例えば、フラッシュメモリなどの不揮発性メモリ、フロッピーディスク、磁気ディスク、光ディスク、光磁気ディスク、DVD-RAMなどが用いられる。

【0016】

次に、受信装置10の動作、及び視聴記録方法について説明する。

まず、番組受付部11が、図示しないアンテナにより放送局からの放送波を受信する。その放送波中には、番組コンテンツと、その番組コンテンツを識別するための番組識別子とが含まれている。そして、番組受付部11は、番組コンテンツを表示部12に出力し、番組識別子を視聴記録部15に出力する。視聴記録部15は、番組識別子を識別子バッファに格納する。

【0017】

図2は、入力受付部14によるユーザによるリモコン入力の受け付け、及び視聴記録部15による記録媒体16への視聴情報の書き込み動作を示すフローチャートである。

【0018】

まず、ステップS101において、入力受付部14は、ユーザによるリモコン入力があるか否かを判断する。そして、ユーザによるリモコン入力がないときには、ユーザからのリモコン入力があるまで、ステップS101の判断を繰り返す。リモコン入力があった場合には、ステップS102に進む。

【0019】

ステップS102において、入力受付部14は、ユーザからのリモコン入力が記録信号であるか否かを判断する。そして、記録信号であるときには、ステップS103に進み、そうでないときには、ステップS106に進む。

【0020】

ステップS103において、入力受付部14は、ユーザの入力した記録信号が、記録条件を満たしているか否かを判断する。そして、記録条件を満たしているときには、記録命令を視聴記録部15に出力し、ステップS104進む。記録条件を満たしていないときには、ステップS101に戻る。

【0021】

ステップS104において、視聴記録部15は、入力受付部14からの記録命令を受け取ると、表示属性取得部13に取得命令を出力する。表示属性取得部13は、取得命令を受け取ると、表示部12に表示されている番組コンテンツの表示属性を取得し、視聴記録部15に出力する。

【0022】

ステップS105において、視聴記録部15は、表示属性取得部13から入力された表示属性と、識別子バッファに格納されている番組識別子とを、視聴情報として着脱可能な記録媒体16に記録する。そして、ステップS101に戻る。

【0023】

ステップS106において、入力受付部14は、ユーザから入力された記録信号以外の信号を、その信号に関係する、例えば、表示部12等に出力する。記録信号以外の信号としては、例えば、番組コンテンツや、ボリューム、表示形態の変更などがある。

【0024】

次に、受信装置10の動作について、具体例を用いて説明する。

以下の具体例においては、ユーザがテレビ受像機（受信装置10）により、ファーストフード会社のCMを視聴しているとする。したがって、番組受付部11からは、そのCMに対応した番組識別子“コード001”が、視聴記録部15に出力される。そして、視聴記録部15は、図示しない識別子バッファに番組識別子“コード001”を格納する。

【0025】

まず、ユーザは、テレビ受像機（受信装置10）に、着脱可能な記録媒体16を装着する。

そして、CMを視聴しているユーザは、テレビ受像機のモニターの全面にそのCMを表示していたとする。

【0026】

図3は、ユーザの使用するリモコンの一例を示す図である。

図3で示されたリモコン20は、通常のリモコンの機能に加え、記録ボタン21を有するものである。CMを視聴しているユーザが、リモコン20の記録ボタン21を一定時間押すと、その時間だけリモコン20から受信装置10の入力受付部14に記録信号が送信される。そして、入力受付部14は、その信号が記録信号か否か、また、その記録信号が、所定の時間、例えば10秒以上続いたかどうかを判断する（ステップS101、S102、S103）。そして、所定の時間以上、記録信号の入力があったときには、記録命令を視聴記録部15に出力す

る。視聴記録部15は、記録命令を受け取ると、表示属性取得部13に取得命令を出力する。すると、表示属性取得部13は、CMがモニターの全面に表示されているという表示属性を取得し、視聴記録部15に出力する。そして、視聴記録部15は、表示属性と、識別子バッファに格納されている番組識別子とを、記録媒体16に記録する（ステップS104、S105）。

【0027】

このようにして、ユーザがファーストフード会社のCMを視聴したという情報が、記録媒体16に記録される。

図4は、記録媒体16に記録された番組識別子と表示属性との一例を示す図である。

左の列は、番組識別子を示す。右の列は、表示属性として、番組がモニターの全面に対してどれだけの範囲に表示されたかを示す。図4で示された例では、ファーストフード会社のCMを視聴したという情報である番組識別子“コード001”と、識別子に対応して、CMがモニターの全面に表示された旨の表示属性とが格納されている。

このようにして、ユーザは、視聴情報の記録された記録媒体16をテレビ受像機（受信装置10）から取り出して、自由に持ち歩くことができる。

【0028】

次に、受信装置10の動作について、他の具体例を用いて説明する。

以下の具体例においては、ユーザがテレビ受像機（受信装置10）により、野球の試合を視聴しているとする。したがって、番組受付部11からは、その野球の試合に対応した番組識別子“コード101”が、視聴記録部15に出力される。そして、視聴記録部15は、図示しない識別子バッファに番組識別子“コード101”を格納する。

【0029】

まず、ユーザは、テレビ受像機（受信装置10）に、着脱可能な記録媒体16を装着する。

そして、野球の試合を視聴しているユーザは、テレビ受像機のモニターの半分に野球の試合を表示していたとする。

【0030】

野球の試合を視聴しているユーザが、リモコン20の記録ボタン21を一定時間押すと、その時間だけリモコン20から受信装置10の入力受付部14に記録信号が送信される。そして、入力受付部14は、その信号が記録信号か否か、また、所定の時間、例えば10秒以上続いたかどうかを判断する（ステップS101、S102、S103）。そして、所定の時間以上、記録信号の入力があったときには、記録命令を視聴記録部15に出力する。視聴記録部15は、記録命令を受け取ると、表示属性取得部13に取得命令を出力する。すると、表示属性取得部13は、野球の試合がモニターの半分に表示されているという表示属性を取得し、視聴記録部15に出力する。そして、視聴記録部15は、表示属性と、識別子バッファに格納されている番組識別子とを、記録媒体16に記録する（ステップS104、S105）。

【0031】

ユーザは、野球の試合を視聴するたびに野球の試合を視聴した旨を記録媒体16に記録することができる。

このようにして、ユーザが野球の試合を視聴したという情報が、図4に示されるように、記録媒体16に記録される。ユーザは、視聴情報の記録された記録媒体16をテレビ受像機（受信装置10）から取り出して、自由に持ち歩くことができる。

【0032】

以上のように、本実施の形態1による受信装置10によれば、番組を識別する番組識別子と、番組の表示形態を示す表示属性とをユーザの記録信号が一定時間入力された場合に着脱可能な記録媒体16に記録する視聴記録部15を備えたことで、ユーザが特定の番組を視聴したことを着脱可能な記録媒体16に記録することができる。そして、ユーザはその視聴情報を持ち歩くことにより、視聴情報に対応したさまざまのサービスを受けることができる。

【0033】

なお、本実施の形態1の具体例では、記録媒体16に記録される表示属性として、番組コンテンツの表示されたモニターに対する割合を用いたが、これは一例

であって、記録媒体16に記録する表示属性としては、例えば、番組コンテンツの表示されたサイズ、位置、あるいは番組コンテンツの表示された時間などを用いることができる。さらに、複数の表示属性の組み合わせを、記録媒体16に記録してもよい。

【0034】

また、本実施の形態1による受信装置10では、表示属性取得部13、及び入力受付部14を備えたが、例えば、表示属性取得部13を備えることなく受信装置10を構成することも可能である。表示属性取得部13を備えない場合には、記録媒体16に記録される視聴情報に、表示属性は含まれない。また、上述の説明においては、視聴情報は、ユーザからの記録信号等の入力があった場合に記録媒体に記録されるとしたが、ユーザが表示部12に番組コンテンツを表示することにより、あるいは、表示部12に、特定の表示形態で番組コンテンツを表示することにより視聴情報が記録媒体に記録される構成としてもよい。

【0035】

(実施の形態2)

以下、本発明の実施の形態2による視聴情報処理装置、及びサービス内容決定方法について図面を参照しながら説明する。

図5は、本実施の形態2による視聴情報処理装置の構成を示すブロック図である。

視聴情報処理装置30は、視聴情報取得部31と、サービス情報保持部32と、サービス内容決定部33と、サービス内容出力部34と、視聴情報削除部35とを備える。

【0036】

視聴情報取得部31は、着脱可能な記録媒体16から視聴情報を取得し、サービス内容決定部33に出力する。なお、視聴情報とは、実施の形態1で説明した、番組識別子を含む情報である。サービス情報保持部32は、サービスを提供する条件としての提供条件と、その提供条件に対応したサービス内容とから構成されるサービス情報を保持する。サービス内容決定部33は、視聴情報取得部31から入力された視聴情報に合致する提供条件があるか否かをサービス情報保持部

3.2を参照して判断する。そして、合致する提供条件があれば、その提供条件に対応したサービス内容と、そのサービス内容に対応する番組識別子とを、サービス内容出力部3.4に出力する。なお、サービス内容に対応する番組識別子とは、提供条件により指定された、そのサービスの提供を受けるのに必要な番組識別子のことである。

【0037】

サービス内容出力部3.4は、サービス内容決定部3.3から入力されたサービス内容を出力し、視聴情報削除部3.5に、サービス内容に対応した番組識別子を出力する。なお、ここでいうサービス内容の出力とは、そのサービス内容を何らかの方法で示唆する場合、あるいは、何らかのサービスを直接提供する場合などを含む概念である。視聴情報削除部3.5は、サービス内容出力部3.4からサービスに対応した番組識別子の入力があったときに、記録媒体1.6の保持する視聴情報から、その番組識別子を削除する。

【0038】

次に、視聴情報処理装置3.0の動作について説明する。

まず、着脱可能な記録媒体1.6が視聴情報処理装置3.0に装着されると、視聴情報取得部3.1は、記録媒体1.6に記録されている視聴情報を読み取り、サービス内容決定部3.3に出力する。

【0039】

図6は、サービス内容決定部3.3が視聴情報を受け取った後の、サービス内容を決定して出力する視聴情報処理装置3.0の動作を示すフローチャートである。

【0040】

まず、ステップS2.0.1において、サービス内容決定部3.3は、サービス情報保持部3.2を参照することにより、視聴情報取得部3.1から入力された視聴情報に合致する提供条件があるか否かを判断する。そして、合致する提供条件がある場合には、その提供条件に対応するサービス内容と、そのサービス内容に対応する番組識別子とをサービス情報保持部3.2から取得し、サービス内容出力部3.4に出力する。合致する提供条件がない場合には、終了となり、その後、新たな視聴情報の入力まで待機する。

【0041】

ステップS202において、サービス内容出力部34は、サービス内容決定部33から入力されたサービス内容を出力する。そして、視聴情報削除部35にサービス内容に対応した番組識別子を出力する。

【0042】

ステップS203において、視聴情報削除部35は、ステップS202でサービス内容出力部34から入力された番組識別子を含む視聴情報を着脱可能な記録媒体16から削除する。

【0043】

次に、視聴情報処理装置30の動作について、具体例を用いて説明する。

以下の具体例において、着脱可能な記録媒体16には、実施の形態1の具体例で説明したファーストフード会社のCMを視聴したという視聴情報、すなわち番組識別子“コード001”が入力されており、視聴情報を記録したユーザは、その記録媒体16をファーストフード会社の系列のファーストフード店に持っていたとする。

【0044】

そして、ファーストフード店の店員がユーザから記録媒体16を受け取り、視聴情報処理装置30に装着する。すると、視聴情報取得部31が視聴情報を読み込んで、サービス内容決定部33に出力する。サービス内容決定部33は、サービス情報保持部32を参照し、ファーストフード会社のCMを視聴したという情報に合致する提供条件があるか否かを判断する。

【0045】

図7は、サービス情報保持部32の保持する、提供条件とサービス内容との一例を示す図である。

図7に示される表において、左の列は、提供条件としての番組識別子を示し、右の列は、提供条件に対応するサービス内容を示す。なお、提供条件の欄でかつて書いているのは、説明のために付加したものであって、実際には、サービス情報保持部32の保持する提供条件には含まれない。

【0046】

このとき、サービス情報保持部32には、ファーストフード会社のCMに対応する番組識別子“コード001”という提供条件があるため、サービス内容決定部33は、視聴情報に合致する提供条件があると判断し、サービス内容出力部34に、ハンバーガーが半額になる旨のサービス内容を出力する（ステップS201）。なお、この視聴情報に合致する提供条件があるか否かの判断は、提供条件に含まれる番組識別子“コード001”と一致する識別子が、視聴情報に含まれるか否か確認することにより行う。

【0047】

そして、サービス内容出力部34は、ユーザの前のモニターにハンバーガーが半額になる旨の表示をし、視聴情報削除部35に、サービス内容に対応した番組識別子“コード001”を出力する（ステップS202）。すると、視聴情報削除部35は、記録媒体16に記録されているファーストフード会社のCMに対応する番組識別子“コード001”を視聴情報から削除する（ステップS203）。

そして、ユーザは、ハンバーガーを半額で購入することができ、その後に、記録媒体16を返却してもらう。

【0048】

次に、視聴情報処理装置30の動作について、他の具体例を用いて説明する。

以下の具体例において、着脱可能な記録媒体16には、実施の形態1の具体例で説明した野球の試合を視聴したという視聴情報が入力されており、視聴情報を記録したユーザは、その記録媒体16をその野球の試合をしていたAチームのファン感謝デーの会場に持っていったとする。

【0049】

そして、会場のスタッフがユーザから記録媒体16を受け取り、視聴情報処理装置30に装着する。すると、視聴情報取得部31が視聴情報を読み込んで、サービス内容決定部33に出力する。サービス内容決定部33は、サービス情報保持部32を参照し、野球の試合を視聴したという情報に合致する提供条件があるか否かを判断する。

【0050】

このとき、ユーザの持参した記録媒体16には、そのAチームのその年の野球の試合の番組識別子が87個記録されていたとする。すなわち、ユーザは、Aチームの試合を1年間で、87回見たことになる。

【0051】

サービス情報保持部32には、図7に示されるようにその年のAチームの野球の試合に対応する番組識別子“コード101～コード235”を50以上含むという提供条件があるため、サービス内容決定部33は、視聴情報に合致する提供条件があると判断し、サービス内容出力部34に、球団オリジナルグッズが貰える旨のサービス内容を出力する（ステップS201）。なお、この視聴情報に合致する提供条件があるか否かの判断は、提供条件に含まれる番組識別子、例えば1年間のAチームの全試合である135試合の番組識別子“コード101～コード235”的うち、視聴情報に含まれる番組識別子が何個あるか判別することにより行う。

【0052】

そして、サービス内容出力部34は、ユーザの前のモニターに球団オリジナルグッズが貰える旨の表示をし、視聴情報削除部35に、サービス内容に対応した50個の番組識別子を出力する（ステップS202）。すると、視聴情報削除部35は、記録媒体16に記録されている野球の試合に関する50個の番組識別子を視聴情報から削除する（ステップS203）。

そして、ユーザは、球団オリジナルグッズを貰うことができ、その後に、記録媒体16を返却してもらう。

【0053】

以上のように、本実施の形態2による視聴情報処理装置30、及びサービス内容決定方法によれば、記録媒体16に記録された視聴情報を読み出し、サービス情報保持部32に保持されている提供条件と合致するか否かを判断して、合致する場合にはそのサービス内容を出力することで、ユーザが特定の番組を視聴したという情報により、そのユーザに対して、細かいサービスの提供を行うことができる。

【0054】

また、視聴情報削除部35によりサービス内容を出力した後に視聴情報を削除することで、ユーザが同じ視聴情報を用いることにより複数回、同様のサービスを受けることを防止することができる。

【0055】

なお、本実施の形態2では、サービス内容出力部34は、サービス内容の出力をを行うと同時に、視聴情報削除部35にサービス内容に対応した番組識別子を出力するとしたが、これは一例であって、例えば、視聴情報に合致する提供条件が2以上あるときには、サービス内容出力部34は、まず、ユーザに複数のサービスのうちいずれを選択するかを決定するように要求し、ユーザの選択したサービス内容に対応した番組識別子を視聴情報削除部35に出力するようにしてもよい。

【0056】

また、本実施の形態2では、サービス情報保持部32は、番組識別子に関する提供条件を保持するものとしたが、これは一例であって、サービス情報保持部32が、番組識別子と表示属性とに関する提供条件を保持してもよい。なお、提供条件として用いられる表示属性は、単数であっても、複数であってもよい。

【0057】

図8は、サービス情報保持部32の保持する提供条件と、サービス内容との一例を示した図である。

図8に示される提供条件は、番組識別子と、表示属性とから構成され、ユーザは、それぞれの条件に合致したサービスの提供を受けることができる。例えば、実施の形態1で説明したような、図4で示される視聴情報の記録された記録媒体16を所有するユーザは、図8に示されるサービス情報により、ハンバーガーが半額になるというサービスの提供を受けられる。

【0058】

また、視聴情報が、暗号化されて記録媒体16に記録されている場合には、視聴情報取得部31が、その暗号を解除してから、視聴情報をサービス内容決定部33に出力するようにしてもよい。

【0059】

また、本実施の形態2では、ユーザが視聴情報の記録された記録媒体16をファーストフード店などに持っていくことにより店員を介することによりハンバーガーの価格の割引などのサービスを受けられるとしたが、これは一例であって、例えば、ユーザがファーストフード店などに設置してある装置に自分で記録媒体16を装着することにより、自動的に何らかの飲食物の提供が受けられるような構成としてもよい。

【0060】

(実施の形態3)

以下、本発明の実施の形態3による受信装置、及び視聴記録方法について図面を参照しながら説明する。

図9は、本実施の形態3による受信装置の構成を示すブロック図である。

受信装置40は、番組受付部11と、表示部12と、入力受付部14と、視聴記録部41とを備える。なお、番組受付部11と、表示部12と、入力受付部14とは、実施の形態1と同様のものであり、説明を省略する。

【0061】

視聴記録部41は、番組受付部11から入力された番組識別子を図示しない識別子バッファに上書きで格納する。また、入力受付部14から記録命令が入力されたときに、識別子バッファに格納されている番組識別子を着脱可能な記録媒体16に記録する。なお、本実施の形態3による視聴記録部41は、同一の番組識別子を記録媒体16に記録するときに、同一の番組識別子を複数記録するのではなく、番組識別子に対応した視聴回数をインクリメントするものである。

【0062】

次に、受信装置40の動作、及び視聴記録方法について説明する。

まず、番組受付部11が、図示しないアンテナにより放送局からの放送波を受信する。その放送波中には、番組コンテンツと、その番組コンテンツを識別するための番組識別子とが含まれている。そして、番組受付部11は、番組コンテンツを表示部12に出力し、番組識別子を視聴記録部41に出力する。視聴記録部41は、番組識別子を識別子バッファに格納する。

【0063】

図10は、入力受付部14によるユーザによるリモコン入力の受け付け、及び視聴記録部41による記録媒体16への視聴情報の書き込み動作を示すフローチャートである。なお、ステップS110ないしS112以外の処理は、実施の形態1の視聴記録部15が、視聴記録部41となった以外、実施の形態1の図2で示されるフローチャートと同様であり、説明を省略する。

【0064】

ステップS110において、視聴記録部41は、識別子バッファに格納されている番組識別子が、記録媒体16にすでに記録されているか否かを判断する。そして、すでに記録されている場合には、ステップS111に進み、記録されていない場合には、ステップS112に進む。

【0065】

ステップS111において、視聴記録部41は、記録媒体16の視聴回数のうち、識別子バッファに格納されている番組識別子に対応する視聴回数に1を足す。そして、ステップS101に戻る。

【0066】

ステップS112において、視聴記録部41は、識別子バッファに格納されている番組識別子を、視聴情報として着脱可能な記録媒体16に記録する。なお、視聴情報を記録するときに、記録した番組識別子に対応する視聴回数は、1とする。そして、ステップS101に戻る。

【0067】

次に、受信装置40の動作について、具体例を用いて説明する。

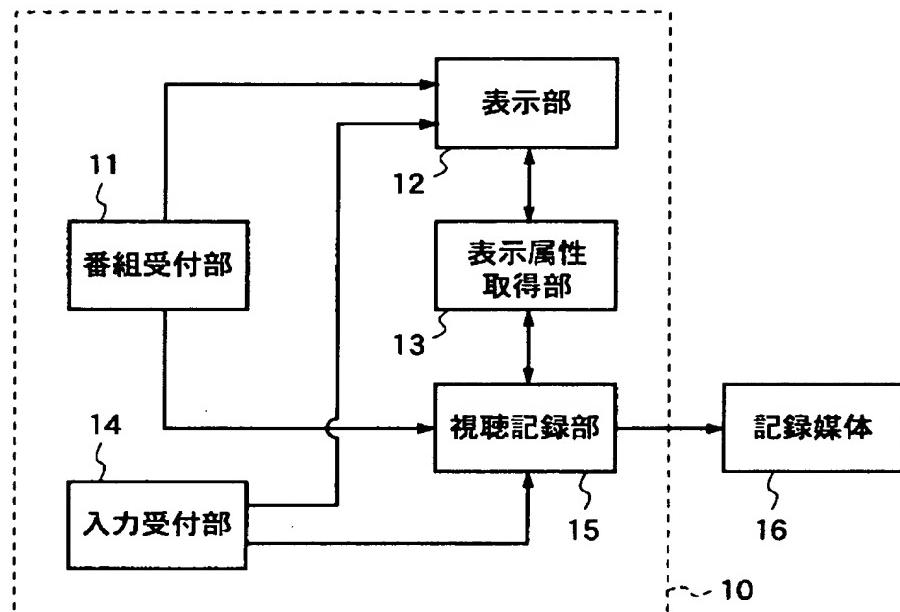
以下の具体例においては、ユーザがテレビ受像機（受信装置40）により、ファーストフード会社のCMを視聴しているとする。したがって、番組受付部11からは、そのCMに対応した番組識別子“コード001”が、視聴記録部15に出力される。そして、視聴記録部15は、図示しない識別子バッファに番組識別子“コード001”を格納する。

【0068】

図11は、着脱可能な記録媒体16に記録された番組識別子と視聴回数との一例を示す図である。

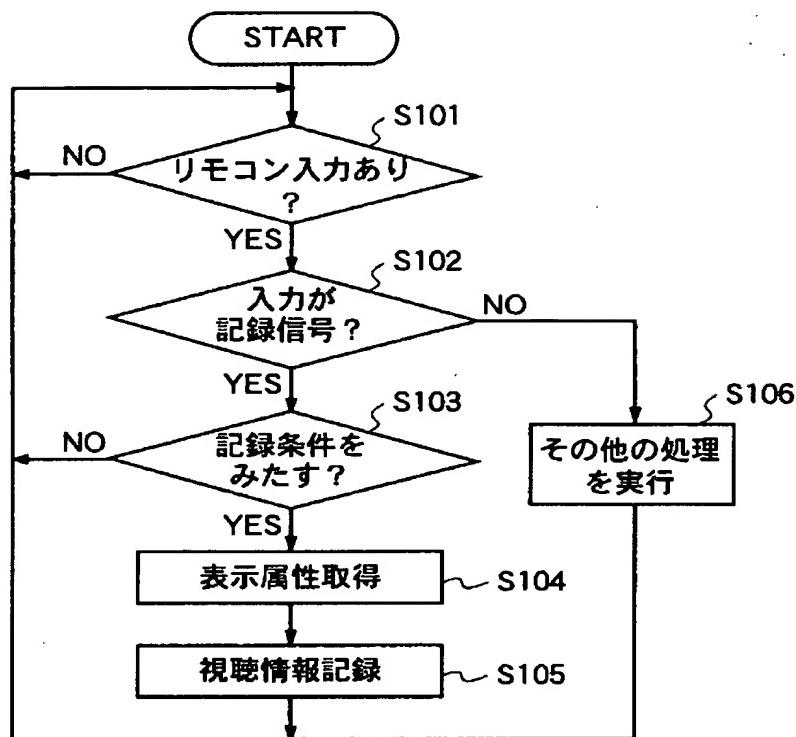
【書類名】 図面

【図1】

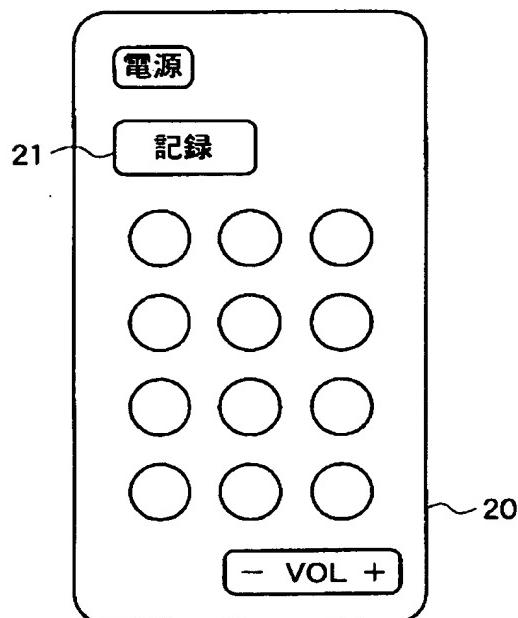


10：受信装置

【図2】



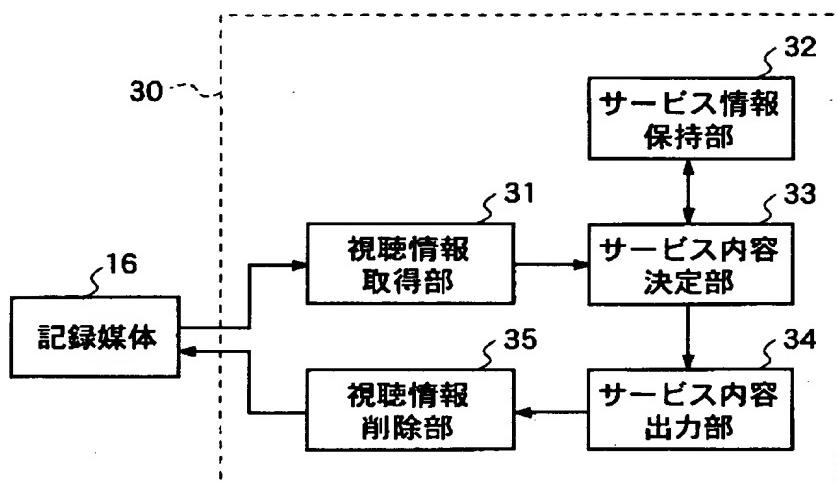
【図3】



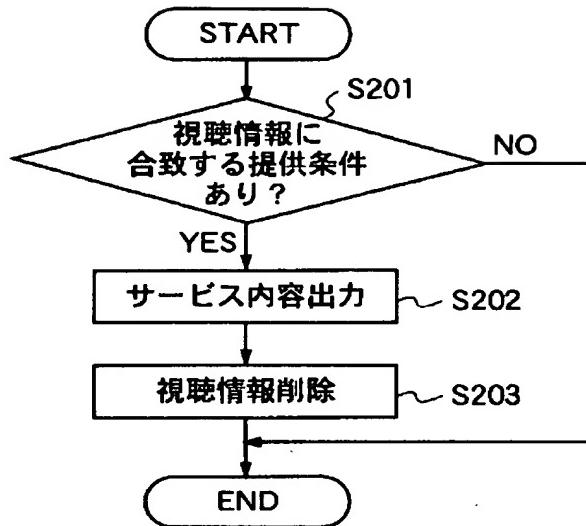
【図4】

番組識別子	表示属性
コード001	全面
コード101	1/2
コード102	1/2
コード107	1/4
⋮	⋮

【図5】



【図6】



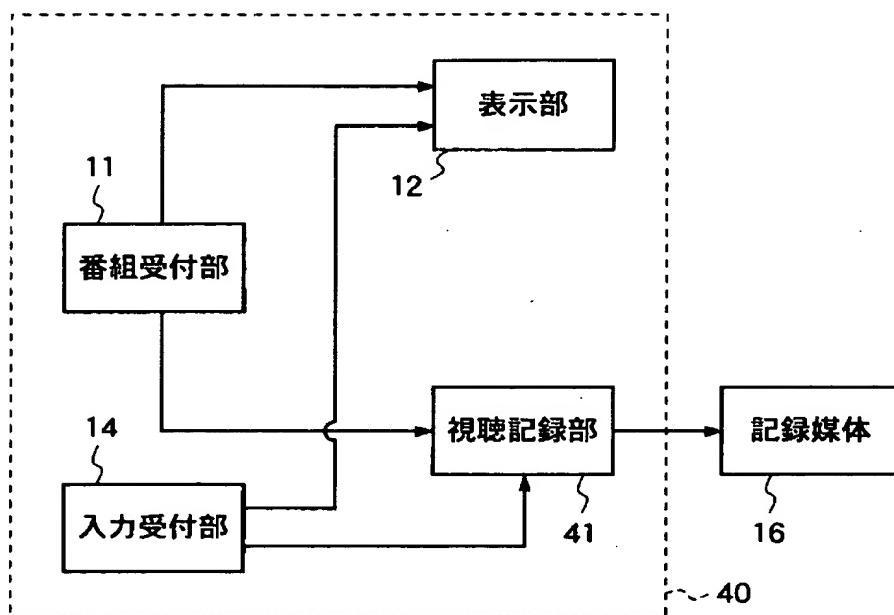
【図7】

提供条件（番組識別子）	サービス内容
コード001 (ファーストフード会社のCM視聴)	ハンバーガー半額
コード101～コード235を50以上含む (Aチームの野球の試合を50回以上視聴)	球団オリジナルグッズ
コード101～コード235を100以上含む (Aチームの野球の試合を100回以上視聴)	選手のサイン入りボール
⋮	⋮

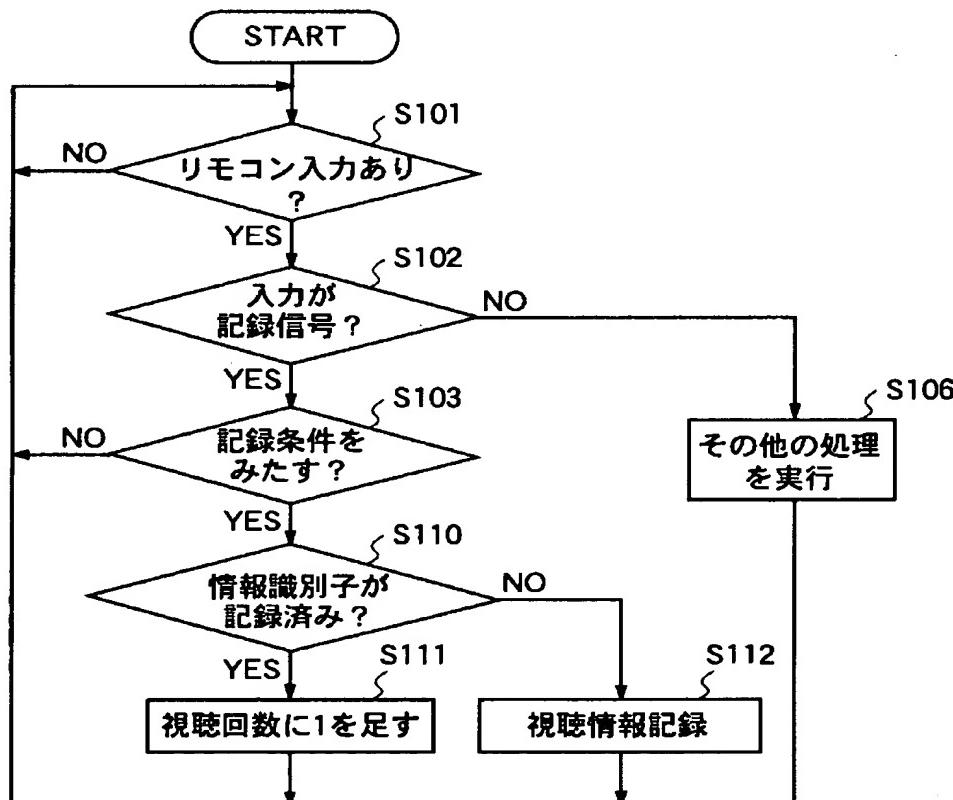
【図8】

提供条件		サービス内容
番組識別子	表示属性	
コード001 (ファースト フード会社 のCM視聴)	全面	ハンバーガー半額
	1/2	ハンバーガー2割引
	1/4	ハンバーガー1割引
⋮	⋮	⋮

【図9】



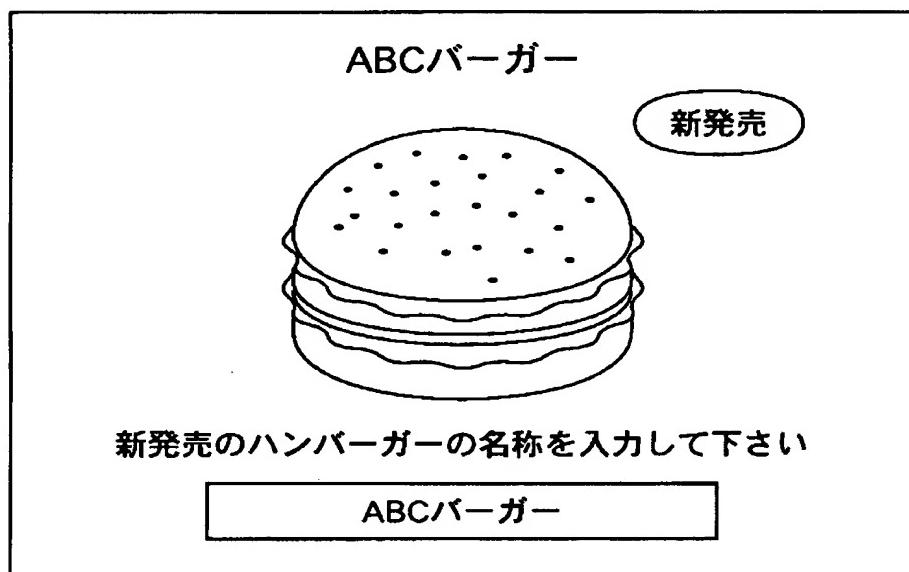
【図10】



【図11】

番組識別子	視聴回数
コード001	3
コード003	1
⋮	⋮
⋮	⋮

【図12】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 番組コンテンツを視聴したことを記録できる受信装置を提供することを目的とする。

【解決手段】 番組の内容である番組コンテンツと、当該番組コンテンツを識別する番組識別子とを受け付ける番組受付部11と、番組コンテンツを表示する表示部12と、ユーザからの入力を受け付ける入力受付部14と、番組コンテンツを表示した属性である表示属性を取得する表示属性取得部13と、入力受付部11に所定のユーザ入力があった場合に、番組識別子と表示属性とを有する視聴情報を着脱可能な記録媒体16に記録する視聴記録部15と、を備えた構成とする。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000005821]

1. 変更年月日 1990年 8月28日

[変更理由] 新規登録

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地
氏 名 松下電器産業株式会社

左の列は、番組識別子を示す。右の列は、その番組識別子に対応する番組を何回視聴したかを示す視聴回数を示す。図11で示された例では、ファーストフード会社のCMを視聴したという情報である番組識別子“コード001”と、そのCMを視聴した回数である視聴回数“3”とが格納されている。

まず、ユーザは、テレビ受像機（受信装置40）に、図11で示される視聴情報の記録された着脱可能な記録媒体16を装着する。

【0069】

CMを視聴しているユーザが、図3で示されるリモコン20の記録ボタン21を一定時間押すと、その時間だけリモコン20から受信装置40の入力受付部14に記録信号が送信される。そして、入力受付部14は、その信号が記録信号か否か、また、その記録信号が、所定の時間、例えば10秒以上続いたかどうかを判断する（ステップS101、S102、S103）。そして、所定の時間以上、記録信号の入力があったときには、記録命令を視聴記録部41に出力する。そして、視聴記録部41は記録命令を受け取る。記録媒体16には、すでに“コード001”が記録されているため、視聴記録部41は識別子バッファに格納されている番組識別子“コード001”が、すでに記録媒体16に記録されていると判断し（ステップS110）、番組識別子“コード001”に対応した視聴回数に1を足す（ステップS111）。したがって、番組識別子“コード001”に対応した視聴回数は、“4”となる。

【0070】

このようにして、ユーザがファーストフード会社のCMを4回視聴したという情報が、記録媒体16に記録され、ユーザは、視聴情報の記録された記録媒体16をテレビ受像機（受信装置40）から取り出して、自由に持ち歩くことができる。

【0071】

以上のように、本実施の形態3による受信装置40によれば、番組を識別する番組識別子と、その番組を視聴した回数である視聴回数とを記録媒体16に記録する視聴記録部41を備えたことで、実施の形態1と同様の効果に加え、ユーザが特定の番組を視聴した回数をも着脱可能な記録媒体16に記録することができ

る。そして、ユーザはその視聴回数を含む視聴情報を持ち歩くことにより、視聴情報に対応したさまざまなサービスを受けることができる。

【0072】

なお、本実施の形態3による受信装置40は、実施の形態1で説明した表示属性取得部13を備える構成としてもよい。この場合には、着脱可能な記録媒体16には、番組識別子と、それに対応した表示属性と、視聴回数とが記録されることになる。

【0073】

また、実施の形態1及び3では、番組受付部11の受け付ける番組を放送局から放送されたものとしたが、これは一例であって、例えば、通信回線を介してインターネットなどのネットワークから番組としての情報を受け付けてもよい。したがって、本明細書中における番組とは、テレビ番組だけでなく、ネットワークを介して得ることのできる情報をも含む概念である。また、番組は、音声を含んでもよい。また、実施の形態1及び3における受信装置10、40は、上述の具体例のようにテレビ受像機に限定されるものではなく、例えば、パーソナルコンピュータや、ワークステーションのように、番組を表示することができ、さらに、記録媒体に視聴情報を記録できるものであれば、どのようなものであってもよい。

【0074】

また、実施の形態1及び3では、入力受付部14は、ユーザがリモコン20の記録ボタン21を一定時間以上、押したことにより、視聴記録部15、41に記録命令を出力するとしたが、これは一例であって、例えば、ユーザが、リモコンにより番組の関連情報を含む文字等を入力することにより、あるいは、ユーザが番組コンテンツにより提示されたURLにアクセスすることにより、記録命令を視聴記録部15、41に出力するようにしてもよい。なお、関連情報とは、視聴者が視聴している番組コンテンツの内容に関連する情報のことであり、例えば、ファーストフード会社のCMの場合は、そのファーストフード会社の名称、または略称などのことである。このように、ユーザに関連情報を含む文字等を入力させることにより、ユーザにCMの内容をより明確に記憶させることができ、CM

の効果を高めることができる。また、関連情報は、番組中に表示された数字等であってもよい。この場合、ユーザが、その数字等をリモコンで入力することにより関連情報の入力が行われたことになる。

【0075】

ここで、ユーザから入力された関連情報が、正しいものであるか否かを判断する入力受付部14の処理について説明する。番組提供者は、予め受信装置10、40に対して、番組コンテンツに対応した複数の関連情報を送信しておく。そして、ユーザから関連情報の入力があった場合に、入力受付部14は、ユーザの入力した関連情報に合致するものが、番組提供者からの関連情報に含まれるか否かを判断する。これにより、正しい関連情報がユーザから入力されたか否かを、判断することができる。関連情報の合致の判断においては、ユーザの関連情報の入力が正確でなくても、一定の割合以上、例えば、8割以上の整合性があれば関連情報の入力があったとみなしてもよい。また、モニターに関連情報を入力する旨の指示を出すことにより、ユーザに関連情報の入力を合わせてもよい。例えば、ファーストフード会社のCMの場合には、「会社名を入力してください」、あるいは「新発売のハンバーガーの名称を入力してください」といった指示が出され、それに対してユーザが正しい入力を行ったときに、視聴情報が記録媒体16に記録されるようにしてよい。

【0076】

図12は、ユーザの入力した関連情報の表示されたモニターの一例を示す図である。

図12で示されるように、ファーストフード会社のCMにおいて、「ABCバーガー」が新発売である旨が表示されており、また、その新発売のハンバーガーの名称を入力する旨が、ユーザに求められている。この要求に応じて、ユーザがリモコンにより「ABCバーガー」と入力すると、その入力内容がモニターに表示される。このようにして、ユーザは、自分の入力した関連情報をモニターを見ることにより確認することができる。

【0077】

また、実施の形態1及び3において、ユーザの観察する番組が図示しない番組

蓄積部に蓄積されており、ユーザが蓄積されている番組のいずれかを選択して表示部12に表示させることにより、あるいは、放送局から送信された表示命令、または受信装置10、40に予め設定された時間設定により蓄積されている番組のいずれかが表示部12により表示されたことにより、入力受付部14が、記録命令を視聴記録部15、41に出力するようにしてもよい。

【0078】

また、実施の形態1及び3では、視聴記録部15、41が視聴情報を記録媒体16に直接記録するとしたが、これは一例であって、例えば、視聴記録部15、41が視聴情報を受信装置10、40の有する図示しない記録部に一時的に記録し、そして、ユーザが望む時に、記録部に記録されている視聴情報を着脱可能な記録媒体16に記録できるようにしてもよい。

【0079】

また、実施の形態1及び3では、視聴記録部15、41は、視聴情報を暗号化して記録媒体16に記録してもよい。このように、暗号化することで、記録媒体16の内容を書きかえられることを防止することができる。

【0080】

また、実施の形態1及び3では、ユーザはリモコンにより入力受付部14への入力を行うとしたが、これは一例であって、例えば、パーソナルコンピュータに付随しているキーボードのように、受信装置10、40とつながったキーボード等を利用して、ユーザ入力を行ってもよく、あるいは、タッチパネル等によりユーザ入力を行ってもよく、ユーザ入力の方法は問わない。ここで、ユーザ入力とは、ユーザが受信装置10、40に対して、上述のリモコン、あるいはキーボード等によって行う入力のことである。

【0081】

また、複数人で受信装置10、40を利用している場合には、一つの記録媒体16に複数人の視聴情報を記録するため、着脱可能な記録媒体16に、ユーザの識別子とそれに対応させた視聴情報とを記録してもよい。

【0082】

なお、実施の形態1ないし3では、番組受付部11の受け付ける番組、及びユ

ーザの受けられるサービス内容として、ファーストフード関連、及び野球関連の場合についてのみ説明したが、これは一例であって、その他の例えばドラマや映画、スポーツ番組、ニュース、広告関係の番組などにも用いることができることは言うまでもない。

【0083】

また、実施の形態1ないし3による受信装置10、40、及び視聴情報処理装置30の各構成要素は、プログラム制御によるソフトウェアで構成してもよく、ハードウェアで構成してもよい。

【0084】

また、実施の形態1ないし3による視聴記録方法、サービス内容決定方法を実現するプログラムを記録した記録媒体を、システム、あるいは装置に供給し、そのシステム、あるいは装置のCPU等の主処理部が該記録媒体に格納されたプログラムを読み出し実行することによっても、上記各実施の形態で説明した効果と同様の効果を得ることができる。

【0085】

なお、プログラムを記録する記録媒体としては、例えば、フロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、磁気ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、DVD-RAM、磁気テープ、パンチカード、不揮発性のメモリカード、ROM等を用いることができる。

【0086】

【発明の効果】

本発明の受信装置、及び視聴記録方法によれば、番組コンテンツを識別する番組識別子を記録する視聴記録部により、番組の視聴者が番組を視聴した旨を着脱可能な記録媒体に記録することができる。また、表示属性取得部を備えた場合には、記録媒体に、番組を視聴した形態である表示属性をも記録することができる。さらに、番組識別子に対応させて視聴回数をも記録媒体に記録することで、ユーザが特定の番組を視聴した回数をも着脱可能な記録媒体に記録することができ、ユーザはその視聴回数に対応したサービスを受けることもできる。

【0087】

また、本発明の記録媒体によれば、当該記録媒体は着脱可能なものであるため、視聴情報の記録された記録媒体をユーザが任意の場所に持っていくことができ、その記録媒体により特定の番組を視聴した旨を証明することができる。

【0088】

また、本発明の視聴情報処理装置、及びサービス内容決定方法によれば、記録媒体に記録された視聴情報を読み出し、当該視聴情報に対応したサービス内容を出力することができ、特定の番組を視聴したユーザに対して、その番組を視聴したことによるサービスを提供することができる効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施の形態1による受信装置の構成を示すブロック図

【図2】

本発明の実施の形態1による受信装置の動作を示すフローチャート

【図3】

リモコンの一例を示す図

【図4】

記録媒体に記録された視聴情報の一例を示す図

【図5】

本発明の実施の形態2による視聴情報処理装置の構成を示すブロック図

【図6】

本発明の実施の形態2による視聴情報処理装置の動作を示すフローチャート

【図7】

本発明の実施の形態2によるサービス情報保持部の保持する提供条件とサービス内容の一例を示す図

【図8】

本発明の実施の形態2によるサービス情報保持部の保持する提供条件とサービス内容の一例を示す図

【図9】

本発明の実施の形態3による受信装置の構成を示すブロック図

【図10】

本発明の実施の形態3による受信装置の動作を示すフローチャート

【図11】

記録媒体に記録された視聴情報の一例を示す図

【図12】

ユーザの入力した関連情報の表示されたモニターの一例を示す図

【符号の説明】

10、40 受信装置

11 番組受付部

12 表示部

13 表示属性取得部

14 入力受付部

15、41 視聴記録部

16 記録媒体

20 リモコン

21 記録ボタン

30 視聴情報処理装置

31 視聴情報取得部

32 サービス情報保持部

33 サービス内容決定部

34 サービス内容出力部

35 視聴情報削除部